

2022年度年度実施概要

学校名

世田谷区立用賀中学校

採択活動名

世田谷から海を学ぶ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1 自由研究・SDG s について調べ学習を行う	1 学年	総合
2 「JAMSTEC (海洋研究開発機構) の遠隔授業」	2 学年	理科
3 「西表島・ヤマネコパトロール活動」の遠隔授業	3 学年	理科
4 若者環境フォーラムへの生徒会参加	2 学年	生徒会
5 黒潮実感センター「海の中の森づくり」について学ぶ	1 学年	理科
6 「フードマイレージ」について学ぶ	1 学年	家庭科
7 廃材を使って幼児のおもちゃをつくろう	3 学年	家庭科
8 「アイシティ eco プロジェクト」	全学年	保健委員会
9 「絶滅が危惧されるコーヒーの木を救え！」の講演	1 年 2 年	総合

取り組みの概要

コロナ禍のなか、感染予防・拡大防止の観点から、Zoom映像での遠隔授業が多くなったが様々な講師や企業のご協力によりSDG s 学習を行う事ができた。

1 自由研究・SDG s について調べ学習を行う

夏休みの課題としてSDG s 新聞づくりの自由研究を行い、10月に学級での発表を経て学年での発表会を行いました。その後、総合的な学習の時間の一環として、SDG s について学習を進めました。インターネットや図書室にある本などを利用して調査し、まとめました。



2 「JAMSTEC (海洋研究開発機構) の遠隔授業」

職業としての研究者の仕事及び、海洋プラスチックについて「JAMSTEC (ジャムステック)」の方に遠隔授業の講義をしていただきました。深海探査船「しんかい 6500」の説明や水深数千メートルの海底にもプラスチックが沈んでいる等の情報をわかりやすく説明していただきました。



3 「西表島・ヤマネコパトロール活動」の遠隔授業

Zoom を活用しての遠隔授業が体育館で行いました。講師は JTEF 西表島支部・ヤマネコパトロール、事務局長 高山 雄介様でした。JTEF トラ・ゾウ保護基金は、野生の生きものの立場に立ってその世界を守るという理念のもとに生物



多様性を保全し、その活動を通じて人の豊かな自然環境を守る非政府の団体です。ヤマネコパトロールの活動は、東洋のガラパゴス＝西表島に生きる100頭のイリオモテヤマネコを、交通事故から守ることで

4 若者環境フォーラムへの生徒会参加

世田谷区 環境政策部 環境・エネルギー施策推進課、特定非営利活動法人ビーグッドカフェの運営により「若者環境フォーラム」に用賀中学校・生徒会が参加しました。開催概要は以下です。



(1) 目的：若者たちが主体となって気候危機問題について議論し、一人ひとりが「自分事」として捉え、環境に配慮した行動変容にどうつなげていくかを考える機会として本フォーラムを開催する。

(2) 当日の運営

時間 内容

15:05～15:08 【オープニング（ご挨拶）】 世田谷区長 保坂 展人（ビデオ出演）

15:08～15:20 団体紹介、「気候危機問題に関する最新の情勢や海外での取組みなどについて」

15:20～15:25 多摩美術大学「産官学民の連携プロジェクトについて」

15:25～16:52 パネリスト：世田谷区立用賀中学校、千歳中学校

SDGs 子ども勉強会プロジェクト、慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト

東京都市大学 ISO 学生委員会、Green Sophia

16:52～16:55 世田谷区からの講評（環境政策部長）

5 黒潮実感センター「海の中の森づくり」について学ぶ

NPO 法人黒潮実感センターのセンター長・神田 結様を講師にお迎えし、テーマ「海の中の森づくり」でZoomによる遠隔授業により1学年全体が体育館で講演をしていただきました。黒潮実感センターは高知県柏島を拠点に活動しており、「島が丸ごと博物館」と捉えて、持続可能な里海づくり目指した活動を行っています。間伐材や枝葉を有効活用したアオリイカの産卵床設置や藻場再生などの取り組みを紹介して頂きました



6 「フードマイレージ」について学ぶ

家庭科の授業で 衣食住の「地域の食文化」の単元より環境のために取り組める事として「フードマイレージ」や環境について学び、地産地消についても学習を進めました。そして「フードマイレージ」が地球や海洋生物にどのような影響を与え連鎖により起こることまでを考えてみました。

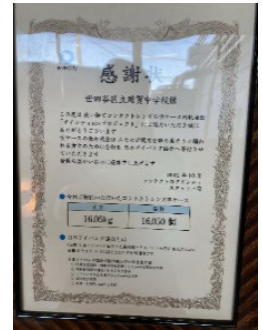
7 廃材を使って幼児のおもちゃをつくろう

「幼児の分野」で学習の最後に幼児のおもちゃの製作を行いました。廃材（川や海の廃品を含む）を使用し、幼児が安全で楽しめるおもちゃ製作しました。幼児にとって、本来、様々なものがおもちゃになります。お金を払って買うおもちゃもとても楽しいが、普段何気なく捨ててしまっているものでも幼児が楽しめるおもちゃは作れるのか、実際に作ってみました。製作したおもちゃは、使用時の安全性を確認後、区内幼稚園に寄贈しています。



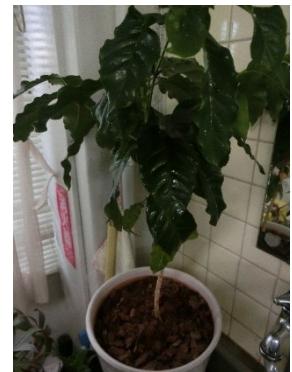
8 「アイシティ eco プロジェクト」

用賀中学校では「アイシティ eco プロジェクト」に賛同し、使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収活動を行っています。3年度、空コンタクトレンズケース重量16.05kg、個数1万6050個を提供し表彰状をいただきました。売却代金は日本アイバンク協会へ全額寄付されます。長年にわたる皆様のご協力に心より感謝いたします。なお、感謝状の贈呈は学校長が、生徒を代表して保健委員会委員長へ行いました。



9 「絶滅が危惧されるコーヒーの木を救え！」の講演

「絶滅が危惧されるコーヒーの木を救え！」というテーマで、湘南DV防止センター 瀧田信之先生に講演をしていただきました。コーヒーはコーヒーベルトという温帯地域の比較的標高の高い地域 栽培されます。午前中は雲が広がり霧が出て、午後は日差しが強くなります。しかし、この数十年の温暖化の影響により 2050年にはコーヒー栽培地域は半減すると言われています。温暖化により、今までいなかった害虫や病気が増えていくのが大きな要因です。また、海の環境悪化、大雨や干ばつなどの被害も増えています。



動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)

1 自由研究・SDGsについて調べ学習を行う



2 「JAMSTEC (海洋研究開発機構) の遠隔授業」



3 「西表島・ヤマネコパトロール活動」の遠隔授業



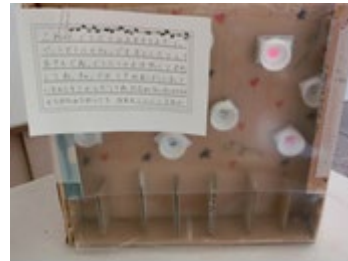
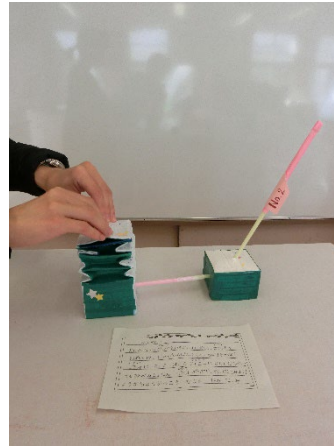
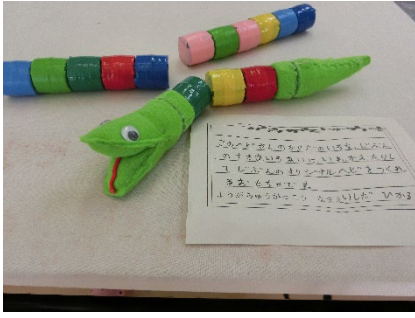
4 若者環境フォーラムへの生徒会参加



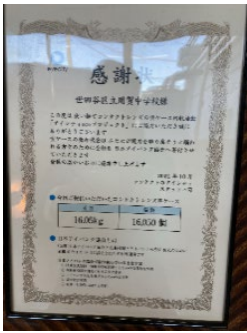
5 黒潮実感センター「海の中の森づくり」について学ぶ



7 廃材を使って幼児のおもちゃをつくろう



8 「アイシテイ eco プロジェクト」



9 「絶滅が危惧されるコーヒーの木を救え！」の講演

各クラスで育てるコーヒーの木です

